

～特集：1学期の主な学校行事～

板倉中学校

○体育祭を開催しました

6月11日(木)、「やめられない とまらない 勝負笑美戦(かっぱえびせん)」のスローガンのもと、体育祭を開催しました。

今年度も学級対抗形式で競技や応援に取り組み、生徒たちは仲間と力を合わせながら全力で競い合いました。競技を通して学級の団結力を高めるとともに、互いを励まし支え合う姿が多く見られ、仲間との絆を一層深める機会となりました。



▲こう見えて実はとってもユーモアあふれる選手宣誓



▲円陣組んで「絶対勝つぞ～」



◀ 敵同士をつなぎ
スタートラインにつく



▲「行け～!!」みんなで全力応援



▲全力を出し切って 綱引き対決

○学校評議員会を開催しました



▲熱心に協議を重ねます

▶授業の様子を見ます

令和8年度第1回学校評議員会を開催し、5名の学校評議員の皆様にご来校いただき、委嘱状をお渡ししました。会議では、校長が今年度の学校経営方針について説明し、教務主任からは学校評価アンケートについて説明を行いました。

その後、授業の様子や校内の教育活動を参観していただきました。

また、学校運営に関することだけでなく、地域が抱える課題や子どもたちを取り巻く環境についても意見交換が行われ、それぞれのお立場から貴重なご意見をいただきました。

今後も定期的に学校評議員会を開催し、いただいたご意見を学校運営に生かして、よりよい学校づくりに努めてまいります。

東小学校

○縦割り活動で育つ思いやりと学び

東小学校では1年生から6年生までが一緒に取り組む「縦割り活動」を行っています。6月の活動はどの班も高学年が中心となって、温かな雰囲気の中で話し合った遊びを行いました。

校庭では、ドッチビーに挑戦する班、だるまさんが転んだで笑い声が響く班、ハンカチ落としで盛り上がる班など、それぞれの工夫が光っていました。活動の中では、低学年にそっと手を添えてあげたり、ルールを優しく伝えたりする高学年の姿も見られ、頼もしさを感じました。こうした遊びの時間は、ただ楽しいだけではなく、自分たちでルールを守り、周りの友達の動きを見て行動することで、協力する力や相手を思いやる気持ちが自然と育まれます。異学年で関わることで、子どもたちは互いの立場を理解し、よりよい関係づくりを学んでいます。



▲高学年のやさしさが輝いていました



▲さあ！全力で追いかけるぞ～（ハンカチ落とし）



▲やってみると面白い（ドッチビー）



○令和8年度青少年赤十字登録式が行われました

東小学校では、青少年赤十字の登録式を5月19日（火）に行いました。式の中では、各クラスの代表が署名をし、新しく仲間入りをした1年生にバッジが贈られました。最後は、みんなで「空は世界に」を歌い、平和と人類の福祉に尽くすことを誓いました。



▲みんなで赤十字の精神を学んでいます

西小学校

○いじめはノー！（いじめ防止集会）

5月と6月に「いじめ防止集会」を実施しました。1回目は、動画視聴を通して、「いじめをしない・させない・ゆるさない」態度を養いました。2回目は、クラスの代表者がそれぞれのスローガンを発表しました。情報を共有することで、いじめ防止に対する意識を一人ひとりが強く持つことにつながっています。



▲動画を見て考えました



▲各クラスのスローガン発表

○わくわく活動したよ （1・2年生の学校探検）



▲校長室を見つけたよ

2年生が各班のリーダーとなり学校内を探検しました。

2年生は、お兄さん・お姉さんとして1年生の面倒をよく見ながら、そして1年生は、わくわく楽しみながら一緒に西小について知ることができました。

○気持ち新たに（青少年赤十字登録式）



▲団員として認証を受けました

青少年赤十字の一員として「心身を強健にし、世のため人のために尽くすこと」を誓いました。これは西小が目指す児童像のひとつ、「強いからだにやさしい心をもった子」にも通じるものです。また、校長先生の「気づき考え実行する」という話に耳を傾けていました。



▲児童会によるクイズで楽しく理解を深めました